

# 「ままごと」の新聞

newspaper of  
mamagoto

第9号

「ままごと」の新聞は、柴幸男の作品を上演する団体「ままごと」が不定期に発行する活動報告紙です。  
発行日：2014年1月29日  
発行元：ままごと

## 「ままごと」が語る《2013年から、2014年》

2013年は瀬戸内国際芸術祭に参加し、小豆島での滞在制作というビッグ・プロジェクトを敢行した「ままごと」。さらに、『朝がある』弾き語りTOUR、あいちトリエンナーレで発表した親子向け作品『日本の大人』、横浜・象の鼻テラスでのTheater ZOU・NO・HANAなど、さまざまな土地・形態での作品づくりにも挑みました。そんな昨年の活動を振り返りつつ、劇団員たちが2014年への抱負を語ります。

——2013年の「ままごと」の活動で印象深かったものはなんですか？

**柴** 『朝がある』小規模なツアー、小豆島での春夏秋冬、『日本の大人』の戯曲執筆の鼻、の全部です。どれも今までにやらなかった、やれなかったことが出来ました。初めての障害をクリアしていくのは快感でもありましたね。

**宮永** おそらくほかのメンバーとも共通していると思いますが、瀬戸内国際芸術祭における小豆島での滞在制作が印象に残っていると思います。



小豆島は今後も大きな拠点に

Takuo Miyanaga  
東京都出身。プロデュースユニットZuQnZ（ズクンズ）主宰。

に横を通らせてもらったお家のおばあさんです。おばあさんはいつも何も言わず、一人で通りを眺めていました。あいさつしても、頭を下げて、返事はありません。春も、夏も、秋も、一人で黙って、町の人も話をしていないところさえも見たことはありませんでした。だけど最後のおさんぽ演劇、そのおばあさんが1時間ずつと歩いてついでてくれました。そして最後に拍手をしてくれたんです。

**宮永** いつも以上に日本全国を転々とした中で本当に多くの方に助けていただいた1年だったと思いますが、むりやりお一人を選ばずとするなら「はえぎわ」のノゾエ征爾さんでしょうか。はえぎわ『ガラパゴスバコス』（柴幸男が出演）の公演中、よく帰りの電車でお話させていただいたのですが、私の「劇団を長く続けるコツって何ですか？」という質問に「何も考えないことですかね」と笑ってお答えになったのが忘れられません。本当に紳士な方です。素敵。  
**大石** 小豆島での出会いはどれも思い出深いです。滞在していた作家さんたちも、迎えてくれた島の人も、熱量と馬力があって、でも屈託がなくて、いろんな人のいろんな面に感動しました。デザイナターの飯田将平君はよく海に潜っていて、ある日でかい牡蠣がとれたって目を輝かせて、「クラゲがうじゃうじゃいてあちこち刺されましたけど、今も右手しびれています。あはは。」「あはは。じゃねえよって思いました。」

**端田** 小豆島で谷カヨさんにたくさん助けただけでした。カヨさんのお孫さんとうちの息子は誕生日が近いんです。ほかにも、小豆島での「しましまようちえん」という育児サークルや、介護を通じてのコミュニティの方々との出会いは、今後の小豆島での活動にもつながっていくと思います。

——昨年の短期「島民生活を経て、あなたを選ばず小豆島の「絶品」は？  
**柴** 森本さん（軽トラに乗ったおばあちゃん）の魚屋さんから買ったあさりで作った、真砂そうめんボンゴレ。景色はそこでも絶品です。

**宮永** 真砂喜の助製麺所の手延べそうめん。小豆島から戻った後も家でお取り寄せ



小豆島にて。左から端田、柴、大石、宮永



2013年はやれなかったことが出来た1年

Yukio Shiba  
愛知県出身。2010年『わが星』にて第54回岸田國士戯曲賞を受賞、同年に劇団「ままごと」を旗揚げ。

——2013年の「出会い」の中で、忘れられない人やエピソードは？  
**柴** いつも（小豆島の）おさんぽ演劇の時

して食べてます。細口でうめんを固めにゆでて釜玉にするのが好き。同じく小豆島の菊醬(ヤマロク醬油)をかけて食べるのがオススメです。真砂さん、今後ともよろしくお願いします。

**大石** 小豆島の坂手港に着くと目に入る洞雲山。その山頂です。春と夏に一人で登りました。たいてい高い山ではないけれど、海辺の宿から徒歩1時間で、軽いロッククライムもあって、山頂からの景色は絶品です。密かにお気に入りです。

**端田** 岡田武市商店の佃煮。塩昆布がもう切れてしまつて困っていたら、青年団の同期の島田曜蔵君が12月に青年団の『銀河鉄道の夜』で訪島した折に買ってきてくれました。しまぶーありがどう。

— それでは、昨年の「ままごと」以外の活動でそれぞれ印象深かったものは？

**柴** はえぎわ『ガラパゴスバコス』出演です。他劇団に客演できたこと、ノゾエさんの演出を見られたこと、受けられたこと、劇作家でも演出家でもなく演劇に参加できたこと、どれも印象深いです。

**宮永** TPAM2013のショーイング・プログラムのディレクターをやらせていただいたことですね。K A A Tのホール(1000人以上収容可能)で演出家の杉原邦生(KUNIO)さんと共に新作舞台を創作・発表しました。多くの挑戦と反省。そして未来が少しだけ垣間見えたような大切な作品になりました。キャストやラッパーのZEN-LA-ROCKさん

に心から感謝です。

**大石** 10月にK E R A (ケラリーノ・サンドロヴィッチ)さん作・演出の公演『SEX・LOVE&DEATH』ケラリーノ・サンドロヴィッチ短編三作によるオムニバス』に参加しました。久しぶりに純粋にコメディをやって楽しかった。そういえばコメディが好きで芝居始めたなあって思い出しました。どうも真面目なことを真面目にやってばかりいるなあと感じていた時期だったので、くだらないことというか、笑いだけについて真面目に取り組める機会があつて良かったです。

**端田** 子育てと保育園探し。子どもが毎日



「こんなものかな」を超える1年に

Masahiro Oishi  
奈良県出身。2010年、ままごと加入。マームとジブシュー、田上マリ、toiなどにも出演。

「今日が一番かわいい！」を更新し続けることに驚き続ける毎日です。最近「渡してきて」と「持ってきて」と「捨ててきて」を習得してくれて助かっています。

### 2014年の「ままごと」は？

— 2014年にあなたが参加する予定の、「ままごと」の活動はなんですか？

**柴** 高校生とつくる『わたしの星』が、メインになると思います。

**宮永** 『わたしの星』です。高校生との共同創作になるので、今から戦々恐々としています。おじさんがんばります。

**大石** できれば小豆島には今年も遊びに行きたいですね。

**端田** 基本的には2015年の『わが星』の準備に明け暮れていると思います。あと小豆島には一緒に行くんじゃないかな。新聞も書きまます。

— 今年はどんな1年にしたいですか。

**柴** 戯曲の執筆により注力したい。上演を前提としない戯曲の執筆がしたいです。また演出家としては、小豆島、象の鼻テラスでした劇場外活動をもっとと拡大して

いきたいです。

**宮永** プロデューサーとして、「アーティスト」と「劇場」や「劇場に限らない空間」および「地域」との新たな共同創作の可能性を模索し、世界に発信できるジャンルレスでクロスオーバーな作品創作を行い、「演劇」が現時点で持っている定義を拡張・更新していきたいです。と、公式な場では言うようにしていますが……いろんな人と出会いたいですね。単純に、やっぱり「演劇」は出会いから生まれると思うので。

**大石** 昨年もうそうでしたが、俳優として、というか仕事をやる人間として、自立すること。どこに放り込まれてもちゃんと自分の仕事をできるようにすること。あと、ここ毎年、1年前の自分が想像しなかったことにチャレンジする機会に恵まれてきたので、2013年に想像していた、「こんなものかな」っていう2014年を超える1年にはしたいです。

**端田** 40歳の役がやりたいですね。3月には37歳になります。というか、2015年に『わが星』をやることは決まっていますので、2014年には舞台に立つていたいと思つてますが、仕事があるかどうか。

— また、個人としての「野望」は？

**柴** 貯金。からの引越。いつか結婚です。

**宮永** 結婚。

**大石** 考えてみましたが、野望はないです。ちゃんと生きていきたいです。

**端田** 私も野望はないです。出産以降、日々生きていくだけでいっぱいいっぱいです。子育てと俳優業の両立を軌道に乗せる。ただなんて言っちゃえるほどには、目の前の現実が甘くないです。ひー。

— 「ままごと」の新聞で、今年挑戦したいことは？

**柴** 新聞ができた時からやりたかった、4コママンガ。自分では書けないので、誰かに依頼して、編集するというので。

**宮永** 全国の温泉レポート。ホントにやりたいです！ 劇団から予算出ますかね？

**大石** 対談企画をやっているのですが、年上の俳優さんと話をしてみたいと思つています。俳優さんと話してみたいと思つている生き方があると思うので。全然知らない生き方や考え方を聞いてみたいし、逆に中高生くらいとちゃんと話したりもしたい。

**端田** 一つの連載が終わつて、今、完全に白紙です。自身の現在性を問うコーナーだと思つているので、今のこの、日々いっぱいいっぱいな感じ、以前は当たり前のようにできていたことを困難に感じるようになったこと、新たに発見した事柄がたくさんあるので、そういうことについて、一つひとつ言葉にするようなことを、するかもしれません。

— ありがとうございます。2014年もままごととは、さまざまな場所へ、さまざまに人に出会いに行く予定です。今年もよろしくお願いします。



2014年にも舞台に立つていたい

Nina Hashida  
京都府出身。青年団所属。2011年、ままごと加入。五反田団、ハイハイ、チェルフィッチュなどにも出演。

## ままごと News ここでは、2014年の「ままごと」3大ニュースをお届けします



ままごと『わが星』撮影=青木司

### 高校生とつくる『わたしの星』上演決定！

前号でもお伝えした通り、今年の8月、柴が高校生とつくる『わたしの星』の上演が決まりました。現在、高校生 CAST & STAFF を募集中。詳細はままごとのホームページ (www.mamagoto.org) をご覧ください。



### TPAM 宮永ディレクションに柴が参戦！

「舞台芸術に取り組むプロフェッショナルのための国際的プラットフォーム」と銘打ち、近年は2月に横浜で開催されているTPAM。そのプログラムの一つ、「TPAMディレクション」のディレクターとして、昨年に続き今年も宮永琢生が参加します。今年は「展示」という形態の中から「演劇」を立ち上げること。参加アーティストは、写真家の濱田英明、服飾デザイナーの瀧澤日、さらに柴も参加します。どんな展示が行われるのか、ぜひご注目ください。

### 劇団員が増えました！

昨年末に、ままごとの劇団員として、加藤仲葉が加入しました。2010年に『あゆみ』の制作助手として参加して以降、ままごとの作品に多数参加。劇場公演の現場制作からツアーの進行まで、的確かつ丁寧な仕事で定評のある制作者です。名古屋を拠点に活動しており、人とまちとアートをつなぐプラットフォームプロジェクト「長者町まちなかアート発展計画」のメンバーとしても活躍しています。

はじめまして。普段は名古屋で生活しています。これからどうぞよろしくお願ひいたします。とても楽しみです。

加藤仲葉

## NEXT

### ■大石将弘【出演】

FUKAIPRODUCE羽衣  
『女装、男装、冬支度』  
@座・高円寺1  
2014年1月29日[水]-2月2日[日]  
www.fukaiproduce-hagoromo.net

### ■柴幸男【テキスト】・宮永琢生【ディレクター】

TPAM2014 宮永琢生ディレクション  
『演劇』という名の展示  
—An Exhibition Called "Play"—  
@ヨコハマ創造都市センター(YCC)1F  
2014年2月11日[火・祝]-16日[日]  
www.tpam.or.jp/2014/

### ■柴幸男【作・演出】

劇団うりんこ『妥協点P』  
@うりんこ劇場(名古屋)  
2014年2月7日[金]-11日[火・祝]  
@こまばアゴラ劇場  
2014年8月下旬  
http://urinko.jp

### ■端田新菜【出演】

I-Play Fes 2014 ~演劇からの復興~  
いわき演劇まつり  
トーク&ライブ『わが星夜話』  
@MUSIC&Bar QUEEN (福島)  
2014年3月22日[土]  
http://iplayfes.exblog.jp

### ■大石将弘【出演】・宮永琢生【制作】

範宙遊泳『うまれてないからまだしねない』  
@東京芸術劇場 シアターイースト  
2014年4月19日[土]-27日[日]  
www.hanchu-yuei.com

### ■柴幸男【作・演出】

青年座『あゆみ』  
@青年座劇場  
2014年7月12日[土]-21日[月・祝]  
http://seinenza.com

### ■柴幸男【作・演出】・宮永琢生【製作総指揮】

ままごと『わたしの星』  
@三鷹市芸術文化センター 星のホール  
2014年8月21日[木]-31日[日]  
www.mamagoto.org

## 編集後記

第9号は、通常の連載をお休みし、昨年同様、劇団員の座談会をお届けしました。次号、第10号もお楽しみに。(熊井)

企画・編集=ままごと  
構成=熊井玲  
デザイン=西山昭彦